

(編入学)

## 平成27年度 入学試験問題

### 小 論 文

( 農学生命科学部 生物学科 )

#### 【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
  2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
  3. 解答用紙（罫線が茶色のもの）2枚と下書き用紙（罫線が黒色のもの）2枚を別に配付してあるので確認すること。
  4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
  5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
  6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
  7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
  8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。
-

平成26年度弘前大学農学生命科学部編入学試験

生物学科 試験問題 (小論文)

問題1と問題2は、それぞれ別の解答用紙を使用すること。

問題1. エコロジカルフットプリント(以下EFPと表示)とは、人間が環境に与える影響の大きさを表す指標である。食料や木材の消費はそれを生産する面積に、二酸化炭素の排出はそれを吸収する森林の面積に換算して求められている。図には1960年からの世界のEFPの推移を示している。

- (1) EFPが1960年以降増加している原因を図から200字以内で説明しなさい。
- (2) 二酸化炭素排出の増加は生物にどのような影響を与えるか200字以内で説明しなさい。
- (3) EFPが1985年頃には100を越えているが、これは、地球環境の持続可能な許容量を超えて人間活動が行われていることを示している。EFPを抑えるための効果的な方法についてあなたの考えを300字以内で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

図 人間が地球に印す足跡「エコロジカル・フットプリント(EFP)」(WWFによる)

(井田徹治「生物多様性とは何か」から図引用)

問題2. 生物多様性の維持は地球環境を健全に保つために重要な意味を持つ。生物多様性を維持する保全活動の例をあげて、その意義について400字以内で述べなさい。